

目次

- 1面 学長予定者の選考はじまる
 2面 事前交渉(無期化)報告
 国立大学財政学習会
 芳金より
 3面 寄稿:二人の映画監督:
 是枝裕和とケン・ローチ
 4面 執行委員会の活動
 編集子の独り言
 組合加入の訴え



第2号(通算1789号)
 電気通信大学
 教職員組合編集部

〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1
 内線 5027 Tel 042-485-2953

e-mail: voice@xxx-xxxxx.org
<http://uec-union.org>

学長予定者の選考はじまる

9月11日(水)付学長選考会議の公示により、次期学長予定者の選考が始まりました。その後10月2日(水)には3名の学長候補者の推薦があった旨の通知がありました。

教職員組合では、学長予定者の選考にあたり、教職員の意見がより一層反映されるよう候補者に対

して公開質問書を出すことを検討しています。

つきましては、組合員の方々に限らず候補者に尋ねたいことを募集します。10月15日(火)までに教職員組合(voice@...)宛にお送りください。

【学長候補者の推薦(敬称略・届出順)】

1. 田野 俊一 (生年月日) 1958(S33)年 8月 3日
(現職) 本学大学院情報理工学研究科教授(本学大学院情報理工学研究科長)
2. 本城 和彦 (生年月日) 1951(S26)年 10月 28日
(現職) 本学大学院情報理工学研究科研究員(本学名誉教授、本学先端ワイヤレス・コミュニケーション研究センター客員教授)
3. 新 誠一 (生年月日) 1954(S29)年 5月 8日
(現職) 本学大学院情報理工学研究科教授(本学情報理工学域長)

【今後の学長予定者の選考日程(2019年)】

学長選考会議公示: <http://soumu.office.uec.ac.jp/gakunai/soumu/senkou-r1/notice0911.pdf>

- 学長候補者からの略歴書及び所信の提出:
10月3日(木)～10月15日(火)12時00分
- 学長候補者との面談等及び意向調査対象者の選出:
10月21日(月)13時00分からの学長選考会議において実施
- 意向調査等に関する公示:
10月23日(水)に意向調査対象者の選考経緯、選考理由、略歴書及び所信、公開説明会及び意向調査の実施について
- 公開説明会:
11月13日(水) 16時15分～B棟202教室
- 意向調査:
11月20日(水) 10時00分～14時00分
本館別館2階 第一会議室

(※学長候補者は、公開説明会以外の説明会や研究室訪問など学長選考に係る活動を9月18日(水)から11月20日(水)までの間行わないこと。)

- 不在者投票:
10月24日(木)9時00分～
総務企画課秘書係において受付
(休憩時間(12時00分～13時00分)及び休日を除く。)
受付締め切りは、11月18日(月)17時00分まで
投票締め切りは、11月19日(火)12時00分まで

- 学長予定者の選考及び決定公示:
11月20日(水)15時00分からの学長選考会議において審議決定し、終了後、速やかに公示する。

※上記日程等によりがたい特別な事情が生じた場合には、その都度公示する。

事前交渉（事務担当者交渉）をしました

教職員組合執行委員会

前号（第1号 No. 1787）の組合ニュースでお知らせしましたが、教職員組合執行部は、非常勤職員の無期転換について6月27日に団体交渉を申し入れています。この事前交渉（事務担当者交渉）が9月24日（火）13時半から行われ、大学側からは人事労務課長、専門員、人事企画係長、人事給与係長が、教職員組合側からは、執行委員4名が出席し申し入れ項目について話し合いました。回答としては、

- 1) 非常勤職員の人数については、長期在職者を含め182名が電通大で働いており、それ以外に既に無期転換をされ働いている方がおられる
- 2) これまで3年から5年への延長にあたって理由書が必要であったが、今後は不要

- 3) 無期転換の申し出をすることにより、労働条件に不利益が生じるのではないかという不安の声があることについて、そのようなことはない、不利益が生じるようなことはない
- 4) 就業規則で定めている一律5年の期限を撤廃することについては、本交渉の場で議論してほしいとのことでした。

教職員組合は、引き続き項目4)を中心に本交渉をし、改善を求めていきます。教職員組合 (voice@...)宛にご意見をお寄せください (学内便可)。

「国立大学財政」の学習会行われる

全大教関東甲信越地区協議会が主催する国立大学財政の学習会が、9月21日（土）に行われました。当日は鳥畑与一教授（静岡大・全大教委員長）の講演を受け、その後意見交換し各大学の状況を出しあいました。

国家財政の役割は、憲法に基づいた国民の暮らしの保障であり、教育面では憲法条の「学問の自由」を保障すること、国民の等しく教育を受ける権利の保障のために租税権があるという観点から今、国家財政危

機への対応に必要なことは、富の偏在の是正であり、累進法人税や所得税の累進性引上げ、資産税導入、組合の団体交渉によるトリクルダウンの回路復活ではないかとの提起がありました。

参加者からは、予算は変わらないように見えても新たに作られた研究センターなどに教職員が割り振られ、これまでの研究室の人員を確保できない状況があり、このような大学財政の絡む問題に組合としても改善求めていきたいという発言がありました。

給与振込口座は、〈中央ろうきん〉がおすすめ!

引出も
手数料

ATM・CD
引出手数料が
即時全額
キャッシュバック!

つかえるATM
銀行・信金・信組
ゆうちょ銀行
24時間利用可能/
イオン銀行 セブン銀行

0
実質

24時間利用可能/
LAWSON FamilyMart
Daily Saitama Seicomart
コンビニでも

振込も
手数料

〈中央ろうきん〉に
給与振込指定で
インターネット/
モバイルバンキングでの
振込手数料が
キャッシュバック!

JR東日本のATM
コーナー
始発から終電まで毎日利用可能/
VIEW ALTTTE
ビューアルツテ
※ご利用時間は、始発から終電まで
365日。カードローンはご利用
いただけません。

【寄稿】

二人の映画監督： 是枝裕和（1962～）とケン・ローチ（1936～）

教職員組合員 奥 浩昭

先日、NHKの「クローズアップ現代」（火～木 午後10時）で二人の映画監督（是枝裕和とケン・ローチ）の対談及びそれぞれの軌跡と新作が紹介された

(<https://www.nhk.or.jp/gendai/articles/4325/index.html>)。

常にソフトに（言葉を荒げずに）語る是枝氏が、ケン・ローチを敬愛し、ケン・ローチに倣い作品を紡いできたことを知った。

ケン・ローチ。*Kes* (1969) にいろいろ考えさせられた。

Kenneth Charles Loach (born 17 June 1936) is a British director of television and independent film. His socially critical directing style and socialist ideals are evident in his film treatment of social issues such as poverty (*Poor Cow*, 1967), homelessness (*Cathy Come Home*, 1966) and labour rights (*Riff-Raff*, 1991, and *The Navigators*, 2001).

Loach's film *Kes* (1969) was voted the seventh greatest British film of the 20th century in a poll by the British Film Institute. (Wikipedia より)

Poverty, Labor rights. 番組でケン・ローチは次の趣旨の発言をした。

強者は弱者の悲惨に涙し、手を差し伸べる。しかし、弱者が力を持つことを決して許さない。番組から教えられ、促されたこと。

人は、ある時は強者として、別の時は弱者として行動することがあるのかと思う。非正規労働を経験せず年金生活者にたどり着く私は、強者のひとりだったのだろう。

もうひとつ。Labor rights への覚醒。茨木のり子（1926～2006）の詩を思い出した。

「もっと強く願っていいのだ わたしたちは 明石の鯛が食べたいと」

「なぜだろう 萎縮することが生活なのだ 思い込んでしまった村と町

家々のひさは 上目づかいのまぶた」

「ああ わたしたちがもっともっと貪欲にならないかぎり

なにごととも始まりはしないのだ」

(詩「もっと強く」)

【補】

「クローズアップ現代」。1993～2016の午後7時半の「クローズアップ現代」を担当した国谷裕子氏（1957～）の再登場はないのか。同番組に出演した樹木希林（1943～2018）の「クローズアップ現代」讃歌を思い出す。

https://www.huffingtonpost.jp/2016/02/09/kiki-kirin-nhk_n_9192690.html

【執行委員会の活動】教職員組合執行委員会は月3ないし4回の会議(水曜日の昼休みの執行委員会など)や不定期に随時に開催する学習会やセミナーなどを通じて活動しています。皆さんのご意見は随時受け付けていますので、ぜひご意見をお寄せください。

10 / 2 (水)	第9回執行委員会(団体交渉(雇止め他)、学長選考、ニュース発行)
9 / 25 (水)	第8回執行委員会(団体交渉(事前交渉:雇止め他)、学長選考、ニュース発行)
9 / 24 (火)	事前交渉(事務交渉:雇止め・無期化)
9 / 19 (木)	第7回執行委員会(団体交渉(雇止め、裁量労働制))学長選考、ニュース発行)
9 / 12 (木)	第6回執行委員会(団体交渉日程(事前交渉)、学長選考、喫煙場所、組合員拡大)

【編集子の独り言】<Can we have the future on our earth?>

秋もたけなわになると、東西に長く伸びた高気圧に覆われてなんとも穏やかな秋晴れに出合える。庭先に接するグラウンドで幼児たちが競技に興じる歓声が心地よく響き(写真)、庭の中では緑の宝石のようなアマガエルのひょうきんな姿に出合う(写真)。この世に生を受け、それぞれの生を素直に精一杯生きる様子に健気さを感じ、また心が和まされたりもする。しかし、周知のごとく近年、気候が大きく変動、「異常気象」が常態化している。季節の変わり目には頻繁に台風や前線(梅雨前線、秋雨前線)の荒々しい活動に見舞われ、諸所の地域の人々の暮らしが台無しにされる。為政者の自覚如何に関わらず防災は今、最も重要な政治的課題となっている。もはや季節の移行時に「花鳥風月」という長閑さを期待するのは難しい。気候変動に加え、核兵器(と原発)、環境汚染、資源の枯渇などが人類に危機を迫る世界的大問題となっているが未だにその根本的解決策は見いだせずにいる。残念ながらこれらの重大問題では真逆な姿勢に固執する政権下にある日本では、理不尽な格差・分断・弱者虐めが蔓延している。そんな社会に、今、一滴の清涼剤のごとき言葉がしみ込んできた。「…被害を受けている人たちがいる。死につつある人たちがいる。生態系全体が崩壊

しつつある。30年以上、何の曇りもなく科学は示してきたのに、どうすれば目をそらし、これで十分だなどと言えるのか…」(19年9月23日国連本部で開催された気候サミットでのスウェーデンの環境活動家グレタ・トゥーンベリさん(16)の演説/「赤旗」9月5日付)。ちなみに、日本の首相は同サミットに出席せず、出席した新環境大臣は同地の海外メディアの記者会見で脱石炭火力発電の進め方について問われ、具体策を語れぬままに「気候変動のような大きな問題に取り組むことは楽しく、かっこよく、セクシーであるべきだ」などと発言したという(同9月25日付)。こうした現状のもと、今われわれの前に立ちはだかる壁は厚く高いように見える。が、この壁は乗り越えるためにあるというべきか。



【執行委員会より組合加入の訴え】

電気通信大学教職員組合は、電気通信大学に勤務する教職員(常勤・非常勤・パート職員)の労働組合です。給与や福利厚生を含む労働環境の改善に取り組んでいます。黙っていると労働環境はますます悪化します。他大学や企業に比べて電通大の労働環境は悪く、将来に不安を持っている教職員も多くなっています。組合はみなさんの声をもとに交渉していきます。組合活動は皆さんの参加によって成り立っています。是非組合に加入してください(下記申込書やHPをご利用ください)。悩み事があれば、加入は決めていなくても、まずご相談ください。ご希望なら弁護士を紹介できます。Webサイト <http://uec-union.org> の「ご意見・労働相談・加入」「連絡先」をご利用ください。



*****<切り取り線>*****

組合加入申込書

20__年__月__日

お名前:

生年月日:

所属部署:

職種: 教員(常勤・非常勤) 職員(常勤 非常勤 パート(短時間雇用))